



火災はかけがえのない生命や財産を奪う大変怖い事故です。平成23年度消防白書によりますと、住宅火災における死傷の死者の大半は逃げ遅れです。【逃げ遅れ604人/その他418人】そして住宅火災が発生した場合に最も重要なポイントは「**炎の勢いが小さい内に初期消火する**」という事です。そこで今回のAdvance通信「暮らしの安心かわらばん」は火災発生の際に誰でも使える「**投げる消火器**」を紹介します。

## とっさの時に、あなたは消火器を使えますか？

一般的な噴射型消火器では「**パニックになってしまい操作がわからない**」「**重すぎて火元まで運べない**」「**炎で近づけず、初期消火ができない**」など、高齢者や子供、そして体の不自由な方には扱いづらいという問題点があります。そこで役に立つのが、老人でも子供でも簡単に扱える「**投げ込み式消火器**」です。



## 投げ込み式消火器のメリットとデメリット

### 【メリット】

- ① 危険な火元に近づかずに消火を行えるので、消化範囲は従来の消火器よりはるかに広がります。
- ② 人体に悪影響を与えることがないので、逃げ遅れた人の近くに投げて消化することが出来る。
- ③ 従来の消火器と異なり、液状なので消化後の清掃が簡単です。

### 【デメリット】

- ① 火元に向かって離れた場所から投げ込むため、コントロールが悪いとうまく消火できない。
- ② 製品によっては、B(油火災)・C(電気火災)には適さないものもある。※ 最近ではB・C火災に対応製品もあります。



※ ホームセンターやネット販売で5,000円前後で販売されています。



## 天ぷら油火災に対しては、専用の消火用具の備えも大切です。

住宅火災の発生原因で、コンロ火災の割合が増加しており、その半数は「**天ぷら油の発火**」によるものです。そこで天ぷら油火災を簡単に初期消化できる専用の消火薬剤(スプレータイプ・スティックタイプ)を台所に備えておいてください。 ※1個 1,000円前後で販売されています。

